福井市における脱炭素の環境取組と課題について

【脱炭素の主な環境取組】

● **ゼロカーボンシティ宣言**

令和３年３月２４日、市長記者会見において、２０５０年の「ゼロカーボンシティ」を宣言。



● **地方公共団体実行計画（事務事業編）「福井市役所エコオフィスプラン」環境配慮指針の改定**

＜全庁的な方針＞

・新設する市有施設についてはＺＥＢ化の検討を行う
・既設施設については照明のＬＥＤ化を適時推進する
・公用車の入替については環境性能の高い車の導入を検討する

● **関連予算の全庁的な把握と支援体制の構築**

「ゼロカーボンシティ関連事業」
・・・温室効果ガス排出量を削減または吸収する事業

次年度の予算編成にあたって、環境部門が全所属と関わり、活用できる国の支援等についての情報提供やＣＯ２排出削減量の算定等の支援を行いながら、関連事業の全体像を把握し管理する体制を構築。

● **公用車への燃料電池自動車の導入**

ＭＩＲＡＩ（１台）を導入し、全庁的にガソリン車に代わる公用車として利用を推進。市民に向けては、水素エネルギーが市民生活に身近なものとなるようイベント等へ出展し普及啓発活動を行っている。





左写真）市政出前講座（森田児童クラブ）での水素エネルギー講座の様子。燃料電池自動車の仕組みについて子どもたちが学び、外部給電器を使用して電化製品を動かした。
右写真）市内事業者が参加した企業交流会での燃料電池自動車試乗会の様子。当日はトヨタカローラの協力を得たほか、講師を招き、市美術館の駐車場を利用して参加者が燃料電池自動車を運転した。

● **市立図書館リニューアル事業（令和６年度春オープン予定）**

市立図書館を大規模改修し、ＺＥＢ Ready の実現を目指すことで、環境に配慮した省エネ効果の高い公共施設にリニューアルする。



● **新クリーンセンター整備事業（令和８年度稼働開始予定）**

新たなごみ処理施設の整備において、廃熱を利用した発電設備や、より高効率な設備の導入等を図ることにより、ＺＥＢ Ready 以上の性能を目指し、エネルギー使用の効率化を推進する。



画像）新クリーンセンター完成イメージ図
現行の施設では、出力 1,700 キロワットのごみ焼却熱発電を行っている。自家消費を除く余剰電力を売電しているほか、余熱を健康運動公園のプールの保温に利用している。

● **地域再エネ導入のための計画づくり事業（令和４年度～）**

再エネ導入の目標量等を設定し、本市での効果的なＣＯ２削減の方策を明らかにした、本市の地域特性に沿った、２０５０年のゼロカーボンシティ実現に向けた中長期的な脱炭素の指針となる計画を策定する。

【課題】

・新型コロナウイルス感染症の再拡大や物価高騰の長期化。事業の優先度の見極め、重点化、限られた経費で最大の効果を生む事業の検討と実施が必要。
・再エネの最大限の導入を進める上で、市民に対する、生活や事業活動の不安感の払拭が必要。
・再エネ導入の前提となる地理特性上の弱みの克服（日照時間の短さ、設置場所等）